

公益社団法人 酒々井町シルバー人材センター  
平成25年度事業報告

## 1、総括

平成25年度は、国の成長戦略等の政策が奏功し、民間企業の春闘では数年ぶりに各業界でベースアップ回答が報道され、景気回復の兆しがうかがえます。

しかしながら、4月からの消費税率引き上げによる経済への影響が懸念されるところでもあります。

さて、当町では昨年4月、酒々井インターチェンジの開通、酒々井プレミアム・アウトレットのオープン以降、町に活気がでてきたように感じます。

こうした中、当センターは発足6年目を迎えますが、これまで受託事業実績が着実に伸びてきており、平成25年度の受託事業費は対前年度比約15%増の48,473千円となりました。

このことは、町民の皆様はじめお客様の深いご理解と共に町当局のご指導、会員各位の努力の賜物であると思います。また、平成24年度に開始した派遣事業についても順調に推移しています。

一方、昨年度は町内全世帯の1割強を対象とした、当センターに対する「住民意識調査」を実施するとともに、1月には当センターの今後の活動指針とする「第1次中期計画」を策定したところです。

今後は、この中期計画を基本としつつ、過去に実施した各種調査（会員意識調査、お客様満足度調査、住民意識調査）結果による貴重なご意見等を踏まえ、当センターに適した活動を展開していきたいと考えます。

## 2、会員の入会促進

平成25年度会員数は高めの150名を目標にスタートし、会員の口コミ、チラシ配布、町広報紙の活用等PRを積極的に進めてきました。結果、目標には届きませんでした。年度当初比16名増の136名となりました。

年度内の入会者数は25名、退会者数は9名であり、従来に比べて受託作業量が増えている事もあり、在籍率が改善されました。

女性会員は、入会／退会同数であり、在籍会員数は前年度と同数の27名となりました。

当センターの会員平均年齢は70.3歳（男性70.5歳、女性69.2歳）で、企業の退職年齢が65歳に引き上げることが義務化された事により、会員の初入会年齢が高くなると予想されます。

次年度は地域デビューするいわゆる団塊世代を主な対象とした会員の勧誘活動に一層尽力したいと考えます。

月平均就業率は、昨年度の62.3%⇒61.2%と若干下がりました。実就業人員は116名で実人員就業率は85.3%でした。

また、今年度は定期的・継続的な就業先が徐々に増えている事もあり、季節によっては短期的、臨時的な作業要請に十分応えられない事もありましたので、次年度も引き続き種々の手法を駆使し会員の増強に努めていきます。

個別の活動結果は次のとおりです。

#### 1) 会員募集

##### ① チラシ配布

- ・ふるさと祭り会場でのチラシの配布（2日間・約1000枚）
- ・事務局員による住宅密集地（中央台、東酒々井等）地域へのポストイン（2月、3月約1250世帯）
- ・仕事先周辺家庭への業務実施会員によるポストイン

##### ②町広報紙「New Shisui」でのPR 偶数月 6回

##### ③町行事への参加（2月盛年式）降雪のため中止

##### ④シルバー軽トラックに会員募集をマグネット板で表示

#### 2) 入会説明会

毎月第2月曜日11時開催（原則）

入会希望者の要請による臨時説明会を実施。

#### 3) 班会議の推進

班の編成表作成配布

#### 4) 全会員懇親会

4月、10月に生涯生活センターで開催。計76名参加

#### 5) ふるさと祭りへの参加

##### ①チラシの配布と問合わせ者への説明

##### ②焼きそば、餃子、会員の手作り品等販売

### 3、就業機会の提供と拡大

平成25年度の受託事業収入は約4,850万円で前年より15%強の伸びとなりました。また、受託件数は前年度とほぼ横這いの1,050件で5%の増となりました。

受託事業実績及び主な活動内容は次のとおりです。

#### 1) 受託事業実績

	受託件数（件）	受託金額（千円）
民間	926	38,164
公共	124	10,309
合計	1,050	48,473
	（別途 派遣事業実績）	： 6,474千円）

## 2) 就業開拓

- ①町役場、主な企業を訪問し、受託事業の継続と新規事業発注のお願いをしました。
- ②チラシ内容を改訂し、ふるさと祭り及び一般家庭の樹木剪定時、周辺の住宅へのチラシ配布を行いました。さらに2月～3月、中央台・東酒々井地区への各戸へのチラシポストインを行いました。
- ③軽作業開拓（30分以内、500円）に向け、社協と競合しないよう協議し、就業希望会員を募りスタートしました。
- ④酒々井プレミアム・アウトレットの4月19日のオープンに向けて、シルバー人材センターの活用を打診しましたが、具体的な事案につながりませんでした。

## 3) 公平な就業機会の提供

新旧会員の交代等に伴い徐々に新しい会員にも定期的な業務に就けるように配慮しました。今後も公平な就業機会の提供ができるように努力します。

## 4) 企画提案方式による事業

休耕農地等の活用方法を検討しましたが、補助金等の規制があり町役場の指導を受け継続検討していきます。

(参考：国庫補助予算の「生涯現役社会活躍応援事業」の内容検討)

## 5) 自主事業

例年実施している「酒々井町ふるさと祭り」へ参加しました。男女会員2グループで焼きそば、手作り品等の出店をしましたが、来客の評判は良く、今後も新しい企画を提案していきたいと考えます。

## 6) 無料職業紹介事業

平成24年10月に無料職業紹介所を開設し、必要に応じ取り組みをしています。現時点、具体的な事案は発生しておりません。

## 7) 一般労働者派遣事業

労働者派遣法による長期契約企業先とは請負作業から派遣事業への切り替えを図ってきました。

これからも請負作業が困難な仕事については派遣事業の取り組みを行います。

## 4、知識・技能の向上

新会員、未経験会員および一般高齢者の新たな技能の習得と向上を図るため、次の講習会を実施しました。

樹木剪定講習会

2月26日 大室台小学校 講師（会員）、受講者 計19名

2月27日 同上 講師（会員）、受講者 計11名

講習会終了後、講師による受講者の技能測定を行いました。今後の作業配分の参考にします。

## 5、普及啓発

- 1) ホームページをほぼ毎月更新し、最新の情報を伝えるとともに内容の充実を図りました。
- 2) 町広報誌への広告掲載を年6回行い、会員募集及び仕事の開拓に努めました。
- 3) チラシの配布
  - ①ふるさと祭り会場でのチラシの配布（2日間・約1000枚）
  - ②事務局員による住宅密集地（中央台、東酒々井等）地域へのポストイン（2月、3月約1250世帯）
  - ③仕事先周辺家庭への業務実施会員によるポストイン
- 4) 会報誌「酒々井するばー」の定期発行（年2回）
- 5) 盛年式への参加（今年は前日準備をしたが当日が雪のため中止）

## 6、安全・適正就業の推進

- 1) 安全意識の高揚と啓発活動
  - ①安全・適正就業委員会の開催  
平成25年度は12回（毎月）開催し、安全就業に関して全国シルバーの報告書等や他県のシルバーセンターの安全・適正就業委員会等の活動をもとに、委員会で意見交換討議を行い、必要に応じ「酒々井するばー」に掲載して注意喚起を図りました。
  - ②安全パトロールの実施  
安全・就業委員および役員の2名で各現場の安全パトロールを6回実施しました。結果は、安全・適正就業委員会に報告され、検討しました。
  - ③交通安全運動の実施  
交通安全については千葉県の協力依頼を受け、ポスター・ビラ等は事務所入り口や軽トラに貼付。ノボりはセンターのゲート・玄関前に掲揚しました。また、ホームページでの注意喚起を図りました。

④当年度の事故は5件発生しました。

- 9月28日 剪定作業中、軽トラをバックした際、鉄門に接触し、門扉を破損
- 10月7日 草刈り作業中、刈り払い機で小石を跳ね、お客様宅の窓ガラスを破損
- 10月9日 草刈り作業中、刈り払い機で小石を跳ね、車の窓ガラスを破損
- 1月29日 ゴルフ場のグリーン保護シート外し作業中、斜面で足を滑らし左足首骨折
- 2月6日 伐採作業中、伐採した木が風にあおられ予定外の方向に倒れ、木柵を破損

## 7、調査研究

今年は前年の「お客様満足度調査」に続き「住民意識調査」を町内9,400世帯の約10%、945世帯を対象に実施し、218世帯から回答を頂きました。貴重なご意見等は、町民の皆様のお役にたつ公益法人としての我々の指針として活用いたします。

## 8、相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象に定期的に入会説明会を実施し、相談に対応するほか、無料職業紹介事業として一般町民や会員に対する雇用・就業等の相談・情報提供の取り組みを行いました。

以下の情報提供は、センター内閲覧とともにホームページ等で行っています。

- ①事業計画
- ②事業報告及び決算報告
- ③講習会等への参加募集
- ④調査研究結果

## 9、社会参加活動の推進

従来から実施している「酒々井町ふるさと祭り」への参加及び大室台小学校樹木の剪定ボランティア（講習兼）を実施しました。

## 10、その他

### 1) 千葉県労働局及び千葉県シルバー人材センター連合会による個別指導

6月28日、上記2者による個別指導を受け、センターの運営や契約書に関し数点の改善指摘がありました。なお、指摘事項はすべて改善実施済です。

### 2) 同好会の活動

昨年7月発足したカラオケ同好会（めじろ会）は、毎月第2木曜日に例会を開催し、開催回数9回、延べ参加者数は62名となりました。

今後、さらに発展し会員相互の親睦が深まることを期待します。

以上